



ドクターイオン クツワ

ワークスタイルや時代の変化に対応したシリーズへと進化したマルチ収納シリーズ。

「ドクターイオン」は、トラベルからビジネス、カジュアル小物まで揃えたマルチ収納シリーズ。20年以上も市場で売れ続けているロングセラーシリーズを、コロナ禍からのワークスタイルの変化や情報・デジタル機器に対応し、鮮度を高めた。

様々なシーンにフィットするデザインとカラー展開で、自由なワークライフを支える。マルチワークケース、マルチホルダー、マルチボックス、スマートフォンケースの4アイテム13品番。4色のカラー展開。

《スマートフォンケース1540円～マルチワークケースA4、マルチボックスM3080円》



ポメラDM250 キングジウム

従来機(DM200)のテキスト入力のしやすさはそのままに、ユーザーからの要望を反映して、より使いやすさを追求した、デジタルメモ「ポメラ」の新モデル。

「ポメラ」DM250は、バッテリーの容量を増加したことにより、フル充電で約24時間の使用時間(従来機は約18時間)を実現。また、USB Type-Cに対応し、充電確認用LEDも新たに搭載するなど、ハードウェア面での使いやすさも向上している。

ソフトウェア面でも日本語入力システムをさらに強化し、校正支援機能の追加、脚本や台本の作成に適したシナリオモードの追加など、様々な機能のアップデートを行った。

《6万280円》



ライトホワイトプラス 学研ステイフル

ホワイトボードノートとして定番化した「Write White(ライトホワイト)」の進化版。

「Write White+ (ライトホワイトプラス)」は、中ページのフォーマットにToDoリスト、方眼、無地の3種類を揃え、仕事はもちろん、暮らしでも役立つ仕様にバージョンアップ。また、透明の保護シートを引き続き装備。書いたものをうっかり消さないようにしたり、重ね書きできる。

フォロワー数約26.5万人を持ち、ayaさんが監修し、おすすめの使い方も紹介。

表紙色はトレンドのくすみカラーと定番色で展開。

《A5タイプ1320円、B5タイプ1430円》

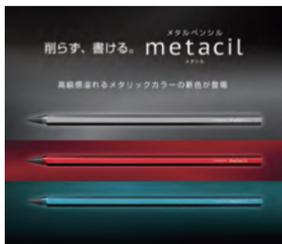


ぺんてるは、「シャー芯の日」の記念日登録、新商品の発売に先駆けて開催した体験発表会で、13年の研究期間を経て開発した、なめらかさを追求したシャープペン替芯の新ブランド「Pentel Ain(ぺんてるアイン)」と、「新自動芯出し機構搭載シャープペン」を搭載した「オレンズ」シリーズ最新作を発表。ソニックは、東京支社での春の商談会で、革新的コンパス「くるんパス」をさらに進化させた超カンタンな最先端コンパス「スーパーコンパスくるんパス デル・クル シャープ用」を発表。進化する新商品はSNS上でも話題を呼ぶなど、新しい年の文具市場が活気づいている。

コロナ禍で激変した市場に活気をもたらす「進化する最新文具」を特集した。

進化する最新文具

価格は税込



メタシル サンスター文具

「メタルポイントペン」から進化した、黒鉛と金属を含んだ特殊芯の芯まで金属の鉛筆。

「メタシル」は、芯が黒鉛と金属を含んだ特殊芯で作られており、筆記時に紙との摩擦で生じる黒鉛と金属の粒子が紙に付着することで筆跡となる新しい筆記具。

美大出身の開発担当者が、デッサンやアイデアをスケッチするときなど、鉛筆を使うたびに削る手間があることや手が黒く汚れることに不便さを感じ、それを解消するためのアイデアから商品化した。

軸色は既存色(6色)に、メタルカラーの新色3色と替芯、ノックタイプが新登場。

《メタシル990円、ノックタイプ385円、替芯440円》



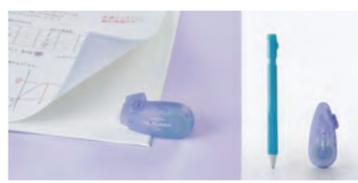
ボールサインiDプラス サクラクレパス

“上質さ”、“握りやすさ”、“書きやすさ”が進化した「ボールサインiD」の上位モデル。

「ボールサインiDプラス」は、新たにペン先の素材に削り出しの金属を採用、さらに本体軸全体が滑りにくいマットなラバー素材となっており、重心は従来の位置より先端に移動させ、低重心となったことにより、より安定した書き心地を実現している。

「ボールサインiD」の黒インキ6色から、人気色の「ピュアブラック(ブラック)」「ナイトブラック(ブルーブラック)」「フォレストブラック(グリーンブラック)」の3色を採用している。

《0.4mmシルバー軸、0.5mmブラック軸、各385円》



ドットライナーフリック コクヨ

ワンアクションでキャップが開く新モデルに進化したテープのり。

「ドットライナーフリック」は、業界最小クラスながらテープ長さ12cmのつめ替えタイプで、ペンケースの中でキャップが勝手に開きにくいのに、使うときは片手でサッと開閉できる新機構の「フリックキャップ」を搭載したテープのり。

本体は、優しい紫色の花名を表現したライラック、爽やかなミント、やわらかなホワイトと、限定色のピンクのカラー展開で、乳白色の半透明樹脂とマットな仕上げ。

《本体319円、つめ替え用テープ(1個)231円、(3個パック)693円、徳用パック(本体ライラックカラー1個、つめ替え用テープ2個)704円》



タイトルブランククロス コクヨ

従来品「タイトルブランク2」を全面的にリニューアルし、進化したマルチラベルプリンタ。

「タイトルブランククロス」は、従来品に比べ印刷時間を約20%削減しただけではなく、キーボードや液晶画面の改良、予測変換機能を搭載し、長文入力もしやすくなるなど機能を強化した。100種類以上のコクヨラベルに対応しており、1台で入力・編集・印刷までが完結する。インデックスラベルだけではなく、ファイルのタイトル印刷にもおすすめ。

無料のラベル印刷ソフト「合わせ名人5」を使用し、パソコンで編集したラベルを「タイトルブランククロス」で印刷することも可能。

《4万4990円》



クルトガ新標準モデル 三菱鉛筆

学生の日々の勉強をよりサポートできるよう、さらに進化した「クルトガ」の新モデル。

「クルトガ 新スタンダードモデル」は、筆記中に芯が回転することによるペン先のブレをさらに軽減できるように「クルトガエンジン」を改良したほか、従来のスタンダードモデルにはなかった長時間筆記に適したグリップを新搭載。従来モデルの良さを残しつつ、デザイン性を向上した。

「クルトガ」は、シリーズ累計販売本数1億本を突破し、大手流通POS年間販売金額実績では、2009年～2022年、14年連続シャープペンシル売上1位。

《芯径は0.3mm、0.5mm、軸色4色、605円》。



ぺんてるアイン ぺんてる

従来品の「なめらかさ」をさらに向上させて進化した、13年振りのシャープペン替芯新ブランド。

「Pentel Ain(ぺんてるアイン)」は、シャープペン替芯に求められる「折れにくさ」「濃さ」「汚れにくさ」などの基本品質を、すべて高レベルで実現しつつ「なめらかさ」に磨きをかけた。

従来品は強度と濃度という、相反する性能を高次元で両立しており、「ぺんてるアイン」もこの性能を損なうことなく引き継ぎ、さらに「なめらかさ」を向上している。ケースの構造、デザインも一新した。

超極細芯から太芯まで、どの芯径においても主要硬度(2B、B、HB)が選択できる。

《各220円》



フリクション次世代モデル パイロットコーポレーション

より濃く、より長く書ける新インキ採用の「フリクション」の次世代モデル。

「フリクションボールノックゾーン」は、より濃い筆跡やインキ容量の増加を望むユーザーの声に応えた次世代モデルの消せるボールペン。

インキ濃度をアップさせた新開発インキを採用し、金属レフィルを使用することで、インキ容量を70%増やし、筆記距離を約40%伸ばした。さらに、ペン先のがたつきを抑制し安定した筆記を実現した「チップホールドシステム」、ノック時の音を軽減した「ノイズカットノック」の新機能が追加されている。

《550円、2200円、3300円の3アイテム、レフィル(2本セット)550円》



くるんパス デル・クル ソニック

にぎって、くるんと回すだけで円が描けるスーパーコンパス「くるんパス」がさらに進化を遂げた最新モデル。

「くるんパス デル・クル」は、クルクル回る「デル・クルヘッド」(特許技術)をつまんでくるんとまわすだけで、小さい円も大きい円も超簡単にかける最先端コンパス。

同社が小学生に聞いた商品調査では、約9割の子どもたちがコンパスに苦手意識を持っていた。「デル・クル」はコンパスへの苦手意識を頭つまみ回転式「デル・クルヘッド」で解消した。塾での使用が多いシャープタイプで、シリコン素材の芯カバーは柔らかいシリコン素材を採用。ブルーとバイオレットの2色。《880円》